

利尻町碎石事業経営戦略

令和3年3月

利尻町碎石事業所

利尻町砕石事業経営戦略

団 体 名 : 利 尻 町

事 業 名 : その他事業(砕石事業)

策 定 日 : 令 和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令 和 2 年 度 ~ 令 和 11 年 度

※複数の施設を有する事業にあっては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

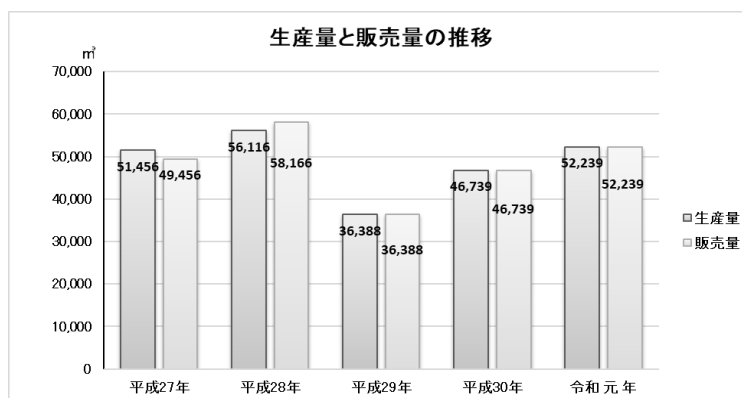
1. 事業概要

(1) 事業形態

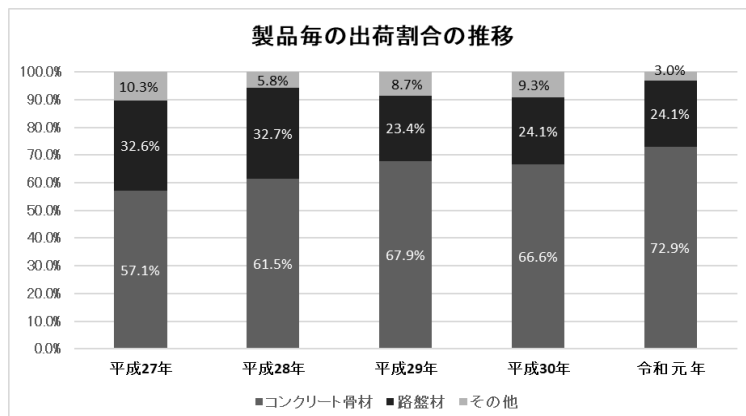
法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法適用	事 業 開 始 年 度	昭和42年4月1日
事 業 の 種 類	砕石製造販売	施 設 名	利尻町砕石事業所
事 業 所 所 在 地	利尻郡利尻町沓形字種富町292番地		
採 取 場 所 所 在 地	利尻郡利尻町沓形字種富町 宗谷森林管理署116林班		
事 務 部 門 職 員 数	4名 (うち会計年度任用職員1名)	製 造 部 門 職 員 数	7名 (うち会計年度任用職員6名)
事 業 の 内 容	<p>当事業所は、昭和42年に事業開始以来、利尻・礼文両島の骨材の安定供給に努めてきたが、近年では公共事業の縮減やリサイクル骨材の需要増加などにより、厳しい経営状況が続くものと見込まれます。</p> <p>現在は、平成20年度にJIS認証を受けたコンクリート用砕石の需要が高まり、付加価値のある砕石の生産販売を行っております。</p>		

(2) 現在の経営状況

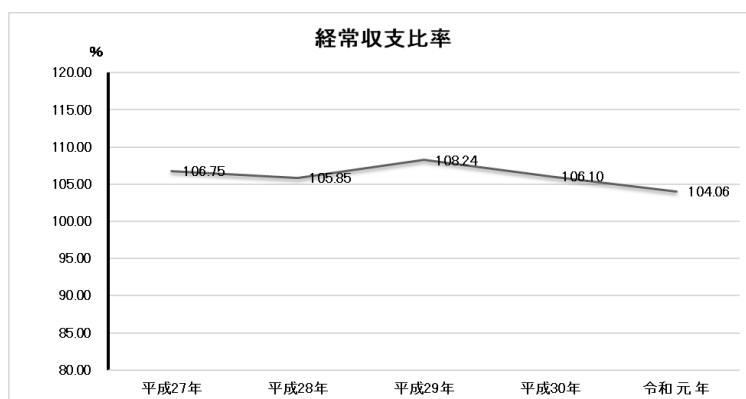
① 不良在庫を抱えない為に需要動向の精度を高めており、生産量と販売量は均衡している。



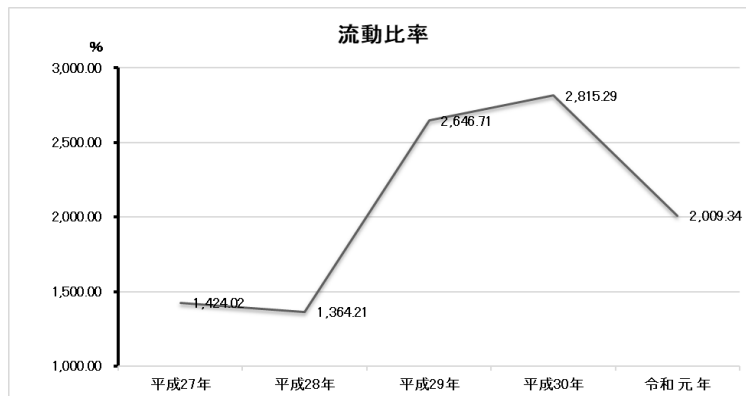
② 過去5年の製品毎の出荷割合を比較すると、コンクリート骨材の占める割合が高くなっている。



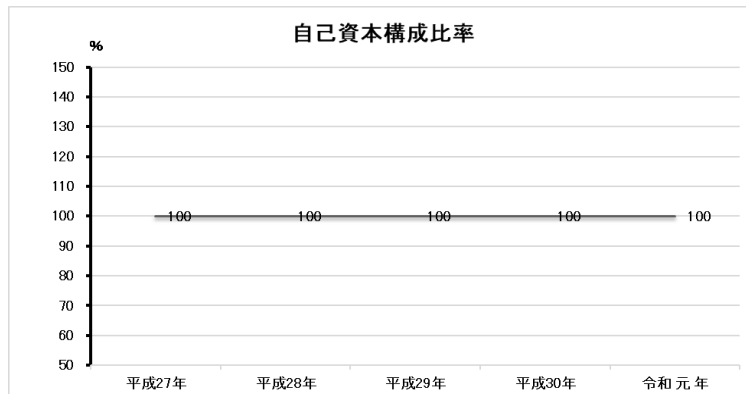
③ 経常収支比率は過去5年においては常に100%を超え安定した経営が行われている。



④ 流動比率は過去5年においては常に1000%を超え安定した経営が行われている。



⑤ 自己資本比率は過去5年においては常に100%を維持している。



2. 将来の事業環境

(1) 石材需要の見通し

社会インフラ整備に必要なコンクリート等に不可欠の建設資材であるが、公共事業の減と、循環型社会の推進に伴うコンクリート塊由来の再生骨材が路盤材として利用されており、路盤材の出荷量は減ってきている。一方で、ここ数年は宗谷管内の風力発電用風車の建て替えや、送電施設整備等に伴うコンクリート用骨材に安定した需要が見込まれている。

(2) 販売収入の見通し

石材需要の動向や生産費用を考慮しながら随時販売単価の改定を実施する。

(3) 老朽化対策の見通し

各種プラントの施設改修の時期に来ているため、老朽化が進んでいるが、適切な維持補修を行い施設の長寿命化を図りながら、適時更新してゆく。

3. 経営の基本方針

- ・利尻・礼文島地区の骨材の安定供給。
- ・常に品質の安定した製品の製造に努める。
- ・効率化・合理化に努め、コスト低減を図る。
- ・危険を排除し作業の安全を図る。
- ・企業の経営性を発揮し社会に貢献する。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

生産に必要な重機については、更新計画に従い順次更新を行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

石材需要の動向や生産費用を考慮しながら随時販売単価の改定を実施する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

人件費を含む経常経費は、節減に努め、収支の均衡を図る。

5. 公営企業としての実施する必要性

利尻・礼文両島の工事用・コンクリート骨材に占める本事業所の位置付けは非常に重要である。民間企業が事業を行った場合、短期的な経営悪化による事業廃止等に陥った場合、地域経済に与える影響は非常に大きく、公営で行われなければ安定的な建設資材の確保もできないことから、創意工夫しながら事業を継続する必要がある。

6. 経営戦略の事後検証、改定などに関する事項

実績との乖離を修正するため、必要に応じて収支計画を見直す。

